広　報　資　料
平成22年10月28日
警　察　庁

非出会い系サイトに起因する児童被害の事犯に係る調査分析について

１　調査分析の趣旨

近時、出会い系サイトに起因する児童被害の事犯が減少する一方、非出会い系サイト（ＳＮＳサイトを主とするコミュニティサイト）に起因する事犯が大幅に増加していることから、関連事業者や保護者等による被害防止対策に役立てるため、非出会い系サイトに起因する事犯の詳細を調査分析したもの。

２　調査分析の対象

平成22年上半期に検挙した非出会い系サイトに起因する児童被害の福祉事犯等７３０件（被疑者５９９人、被害児童６０１人）

３　調査分析の概要

(1) 被害児童のフィルタリング加入状況等

○　被害児童が携帯電話を使ってアクセスしている事犯が９割以上。
（６頁・第３-５）

○　被害児童がフィルタリングに加入していない事犯が９割以上。
（６頁・第３-７）

(2) 被疑者のミニメール利用状況

○　被疑者がサイト内のミニメールを利用した事犯が約６割。
（３頁・第２-７）

○　被疑者がミニメールから直接メールへ移行した事犯が、ミニメール利用事犯の約９割。（３頁・第２-8-1)

(3) その他

○　被害児童が、保護者からサイトの利用について注意されたことがない事犯が約８割。（７頁・第３-10)

○　被疑者の犯行動機については、児童との性交目的(約７割)を含めて児童との接触目的が約９割。（２頁・第２-１）

○　被疑者が年齢等を詐称した事犯が約４割。（４頁・第２-10-1)

○　ＥＭＡ認定サイトに起因する事犯が約５割。（８頁・第３-13)

※　ＥＭＡ(一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構)の認定を受けたサイトは、フィルタリングの対象外となる。

４　今後の対策

○　フィルタリングの普及徹底

○　ミニメールの監視体制拡充の促進

○　実効性のあるゾーニングの促進

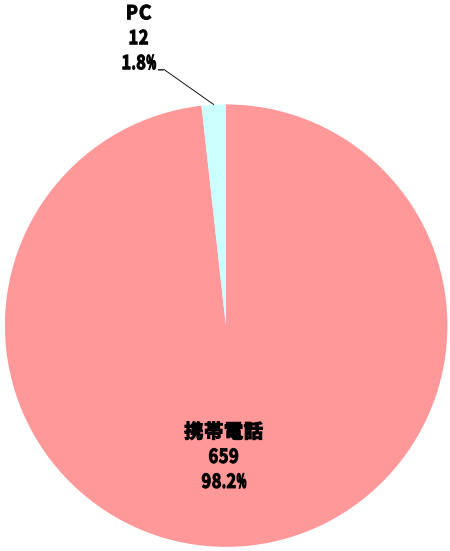
※　ゾーニングとは、利用者の年齢等属性に応じて利用可能なサービスを区別して設定すること。

別添

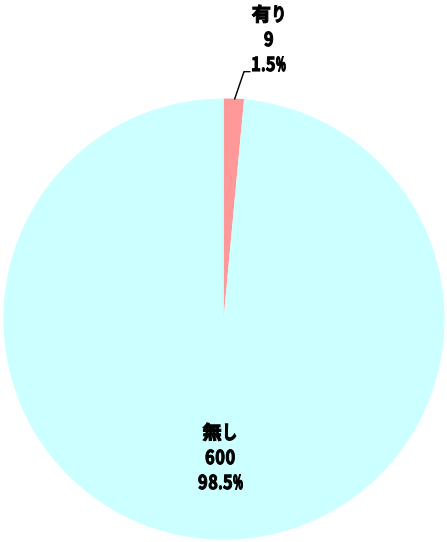
非出会い系サイトに起因する児童被害の事犯に係る調査分析（抜粋）

1　被害児童のフィルタリング加入状況等

＜被害児童のアクセス手段＞
（n = 671）

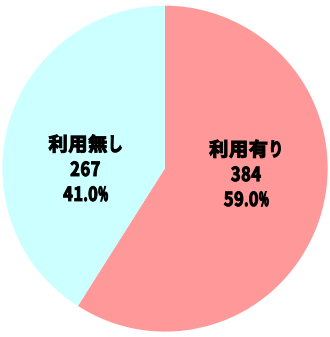


＜被害児童のフィルタリング加入状況＞
（n = 609）

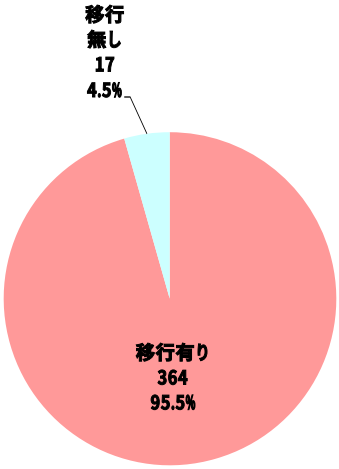


2　被疑者のミニメール利用状況

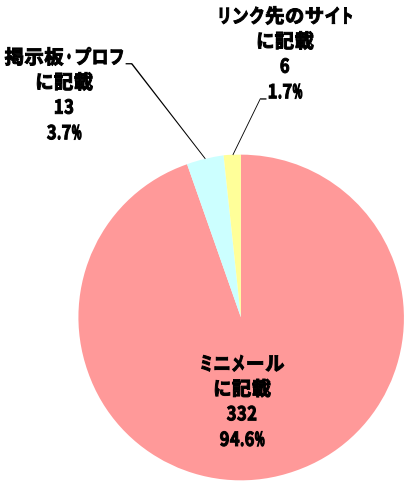
＜被疑者のミニメール利用状況＞
（n = 651）



＜ミニメールから直接メールへの移行状況＞
（n = 381）

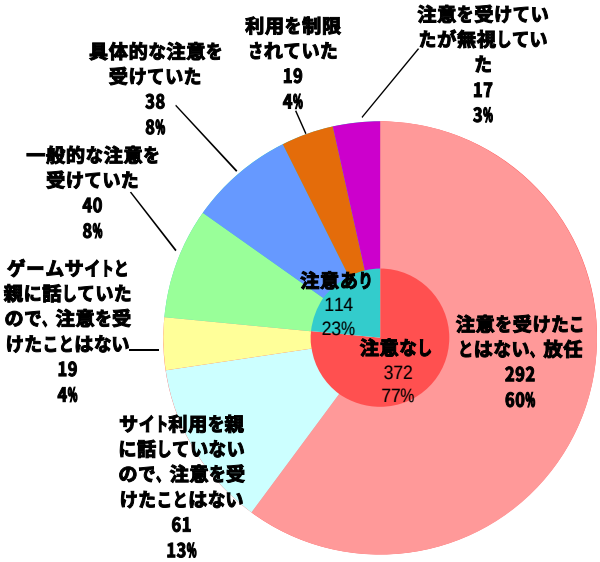


＜直接メールアドレス等の連絡方法＞
（n = 351）

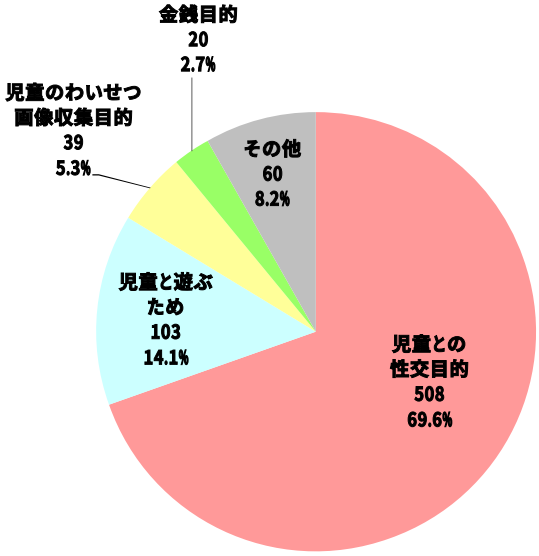


3　その他

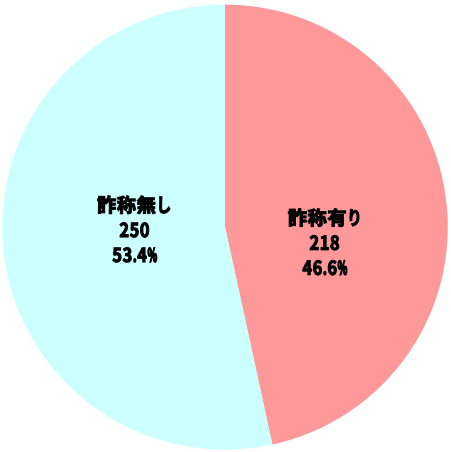
＜親による指導状況＞
(n = 486)



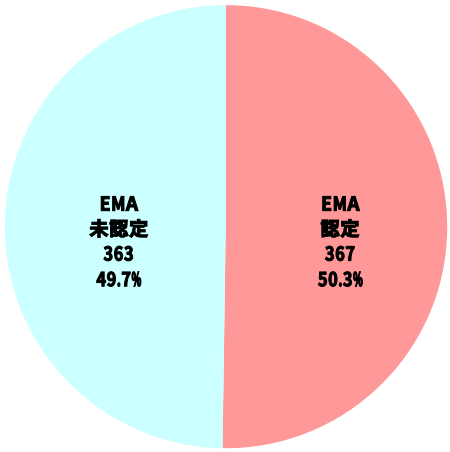
＜ 被疑者の犯行動機＞
(n = 730)



＜ 被疑者のプロフィール詐称状況＞
(n = 468)



＜ EMA認定サイトに起因する被害発生状況＞
(n = 730)



平成22年10月

非出会い系サイトに起因する児童被害の事犯に係る調査分析

警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課

目　　次

第１　調査分析の趣旨等……1
　１　趣旨……1
　２　調査分析の対象……1
　３　調査項目……1
第２　被疑者に関する調査分析……2
　１　犯行動機……2
　２　当該サイトを選んだ理由……2
　３　被害児童を選んだ理由……2
　４　サイト上で被害児童と知り合ってから犯行に及ぶまでの日数……2
　５　当該サイトへのアクセス手段……3
　６　使用携帯電話の名義……3
　７　ミニメールの利用状況……3
　８　ミニメールから直接メールへの移行状況……3
　９　サイトにおけるの隠語の使用状況……4
　10　プロフィールの詐称状況……4
第３　被害児童に関する調査分析……5
　１　当該サイトを利用した理由……5
　２　当該サイトに対するイメージ……5
　３　当該サイトの利用期間……5
　４　被疑者と会った理由……5
　５　当該サイトへのアクセス手段……6
　６　使用携帯電話の名義……6
　７　フィルタリングの加入状況……6
　８　インターネットの利用経歴……6
　９　プロフィールの詐称状況……7
　10　親による指導状況……7
　11　学校による指導状況……7
　12　友達のサイト利用状況……7
　13　ＥＭＡ認定サイトにおける被害発生状況……8
第４　検挙事例……9

第１ 調査分析の趣旨等

１　趣旨

平成22年上半期における出会い系サイトに起因する事犯の被害児童は141人(前年同期比-124人 -46.8%)と減少する一方、非出会い系サイト（ＳＮＳサイトを主とするコミュニティサイト）に起因する事犯の被害児童は601人(前年同期比+56人+10.3%)と大幅に増加していることから、サイト事業者の自主的な取組みの強化や保護者に対するサイト利用に伴う危険性の周知等被害防止対策に役立てるため、被疑者及び被害者の非出会い系サイトの利用状況等の詳細を調査分析したもの。

２　調査分析の対象

平成22年上半期に検挙した非出会い系サイトに起因する児童被害の福祉犯罪等７３０件（被疑者５９９人、被害児童６０１人)

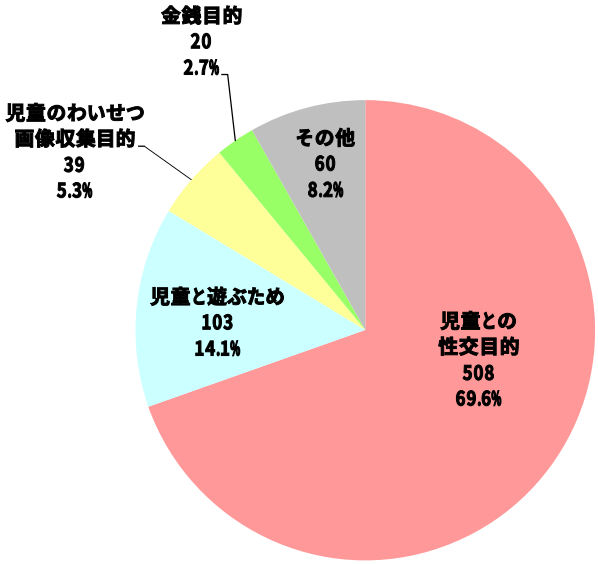
３　調査分析の方法

平成22年上半期に検挙した７３０件の捜査の過程で判明した事実を基に、調査分析の項目ごとに集計した。したがって、調査項目に係る事実が判明した検挙事犯のみの件数の集計である。

第2　被疑者に関する調査分析

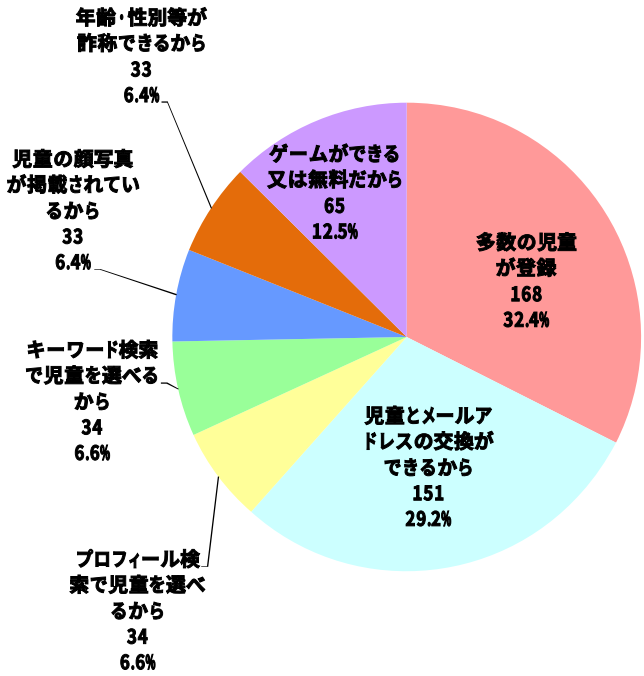
1　犯行動機

(n = 730)



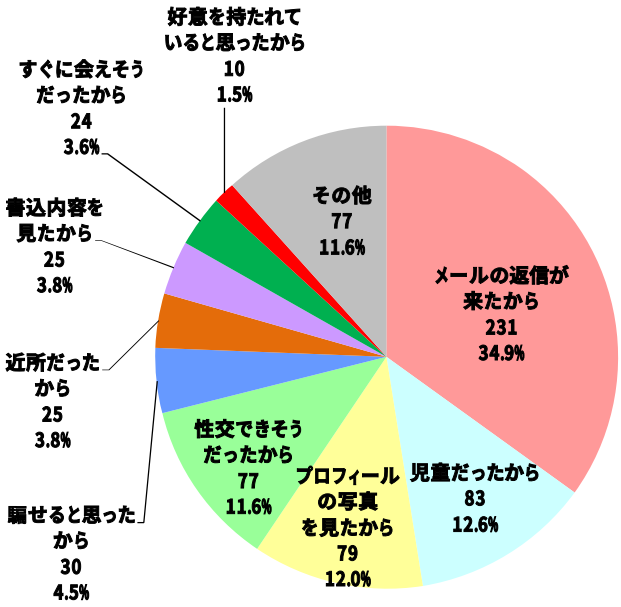
2　当該サイトを選んだ理由

(n = 518)



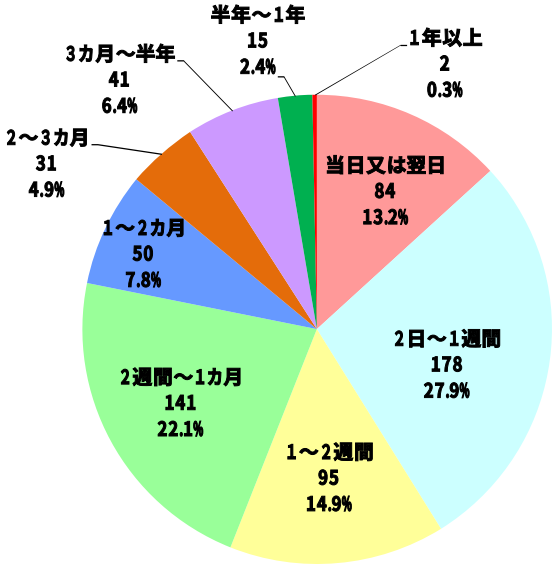
3　被害児童を選んだ理由

(n = 661)



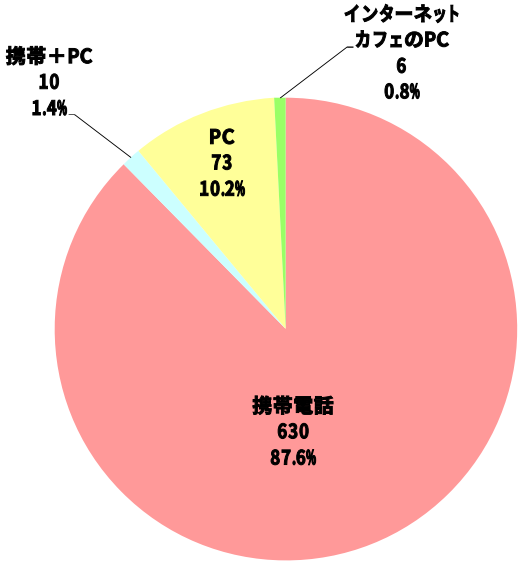
4　サイト上で被害児童と知り合ってから犯行に及ぶまでの日数

(n = 637)



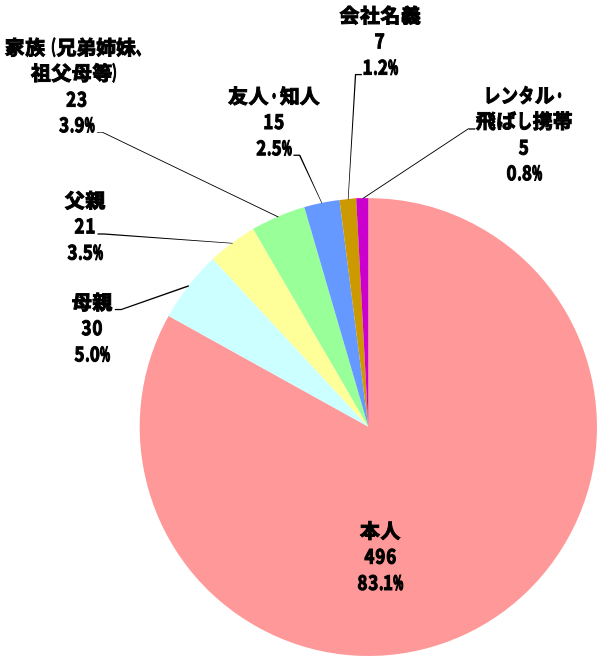
5　当該サイトへのアクセス手段

(n = 719)



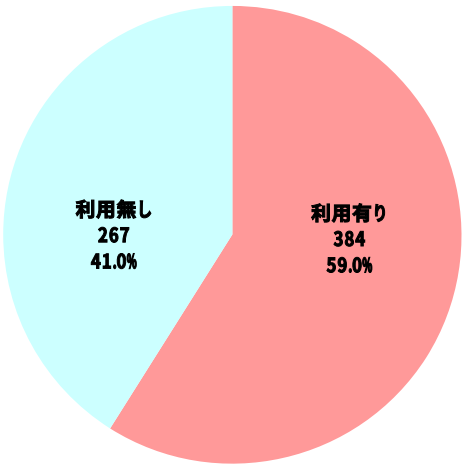
6　使用携帯電話の名義

(n = 597)



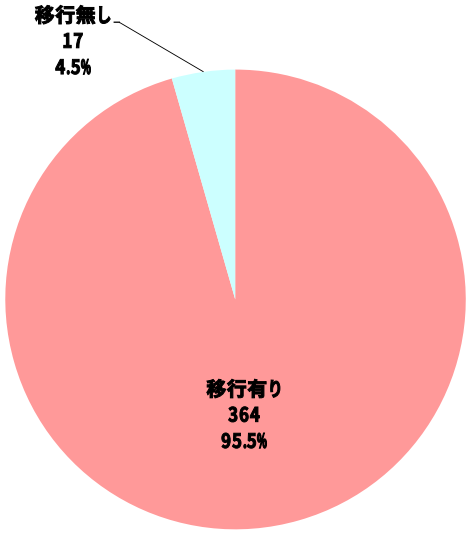
7　ミニメールの利用状況

(n = 651)



8-1　ミニメールから直接メールへの移行状況

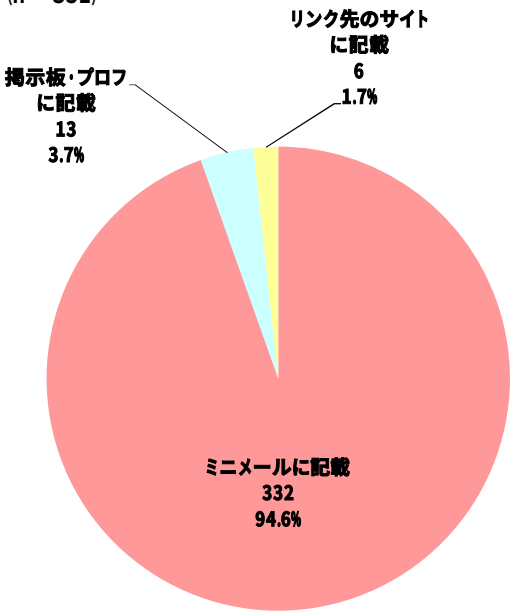
(n = 381)



ほとんどの被疑者が、サイト事業者の管理下にあるミニメールから直接メールへ移行した上で、児童を誘い出していたことが窺われる。

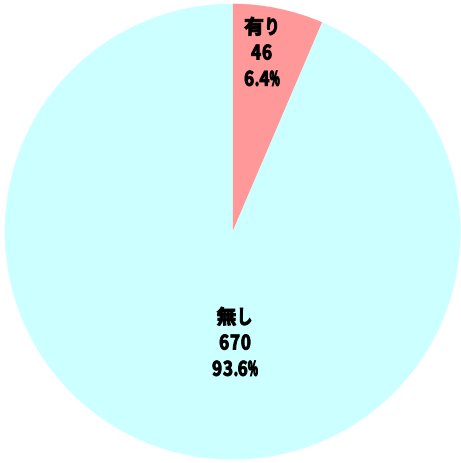
8-2 直接メールアドレス等の連絡方法

(n = 351)



9 サイトにおける隠語の使用状況

(n = 716)

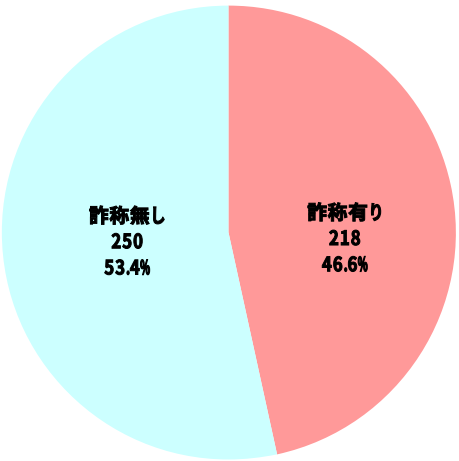


携帯電話番号やメールアドレス等を次のような隠語を使って記載している。

- わらわ-あかさた-なはまや (ひらがなで記載)
- 丸数字 (①、②) や漢数字 (壱、一)
- 変形した文字や数字
- 略語

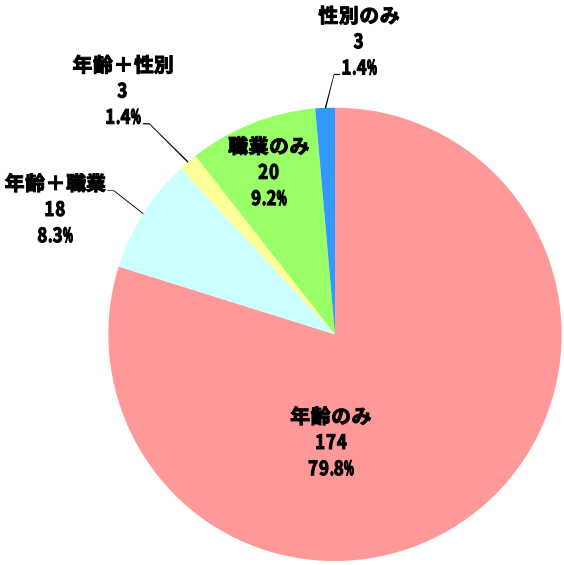
10-1 プロフィールの詐称状況

(n = 468)



10-2 詐称内容

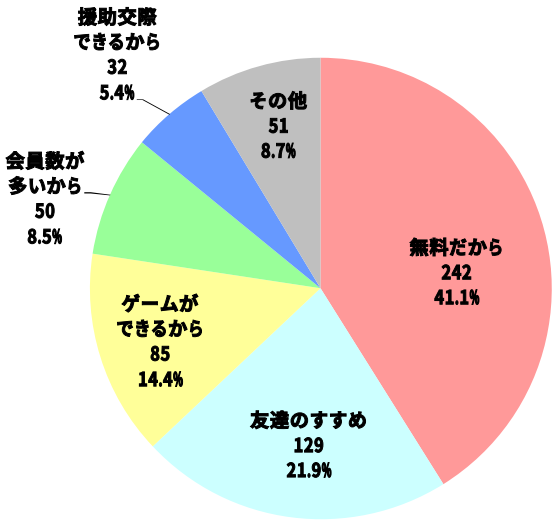
(n = 218)



第3　被害児童に関する調査分析

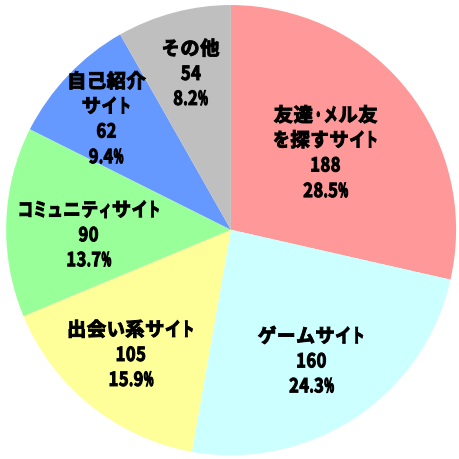
1　当該サイトを利用した理由

(n = 589)



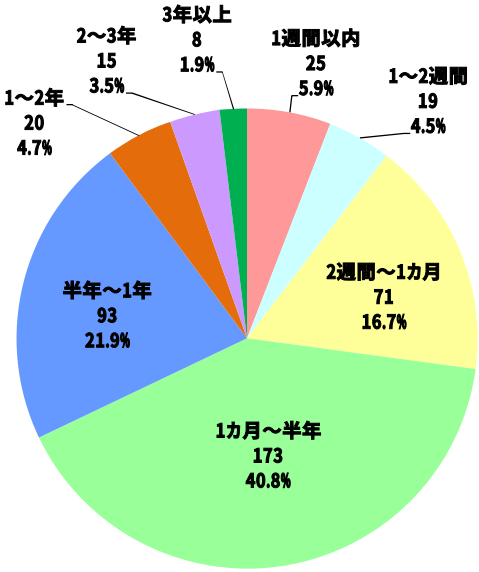
2　当該サイトに対するイメージ

(n = 659)



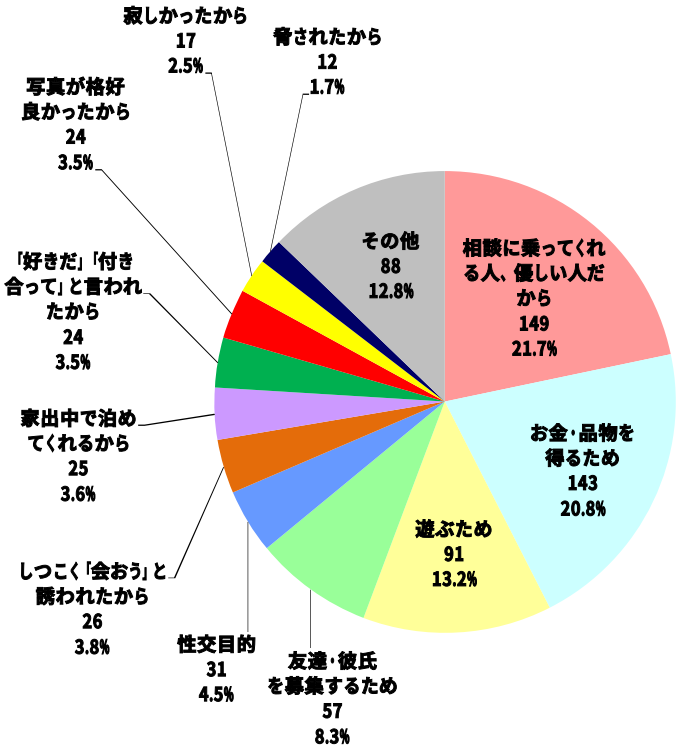
3　当該サイトの利用期間

(n = 424)



4　被疑者と会った理由

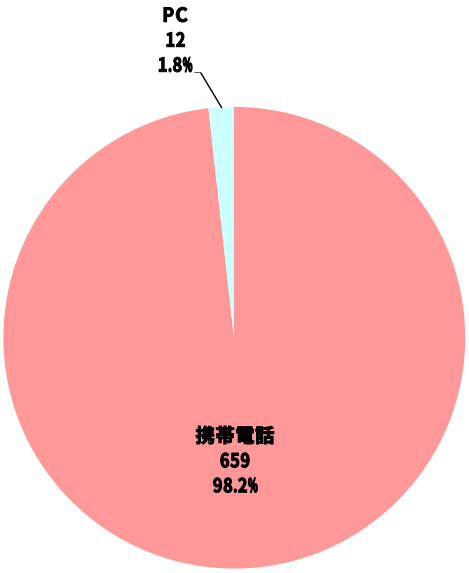
(n = 687)



被疑者は被害者に対し、甘言や金銭等を提示して誘い出していたことが窺われる。

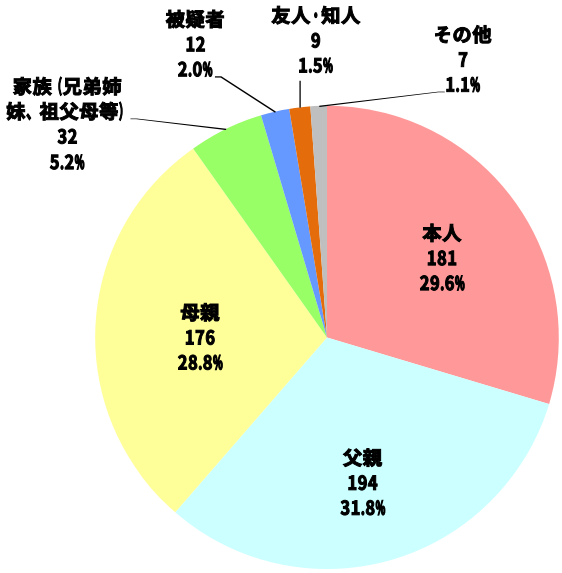
5　当該サイトへのアクセス手段

(n = 671)



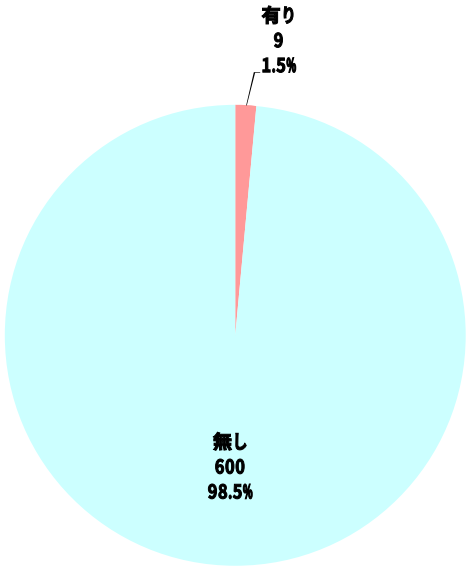
6　使用携帯電話の名義

(n = 611)



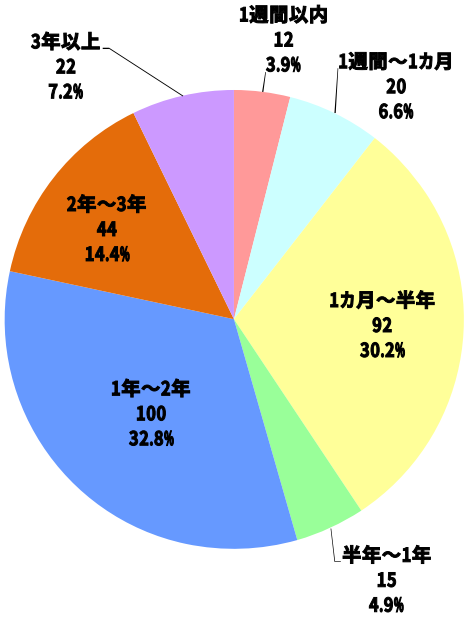
7　フィルタリングの加入状況

(n = 609)



8　インターネットの利用経歴

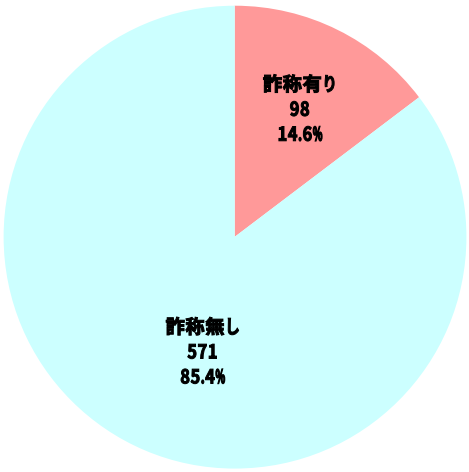
(n = 305)



検挙した事犯の約40%において、被害児童が半年以内に利用し始めたインターネット初心者であったことが窺われる。

9　プロフィールの詐称状況

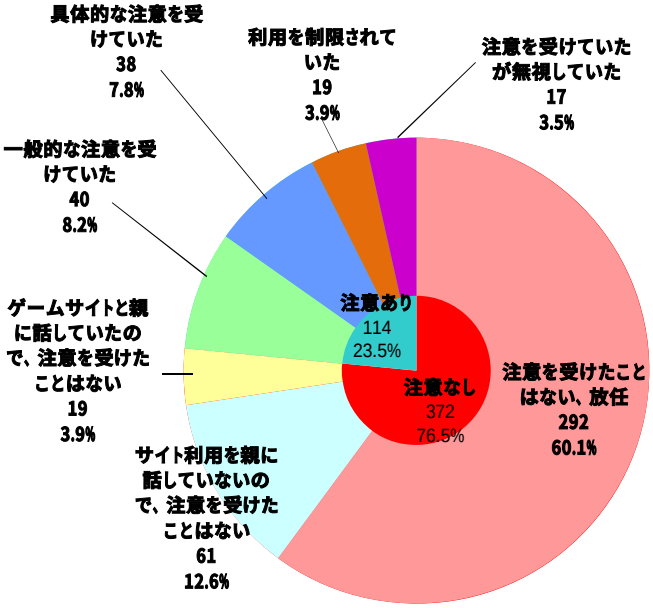
(n = 669)



詐称有り98件中82件は、年齢の詐称であった。

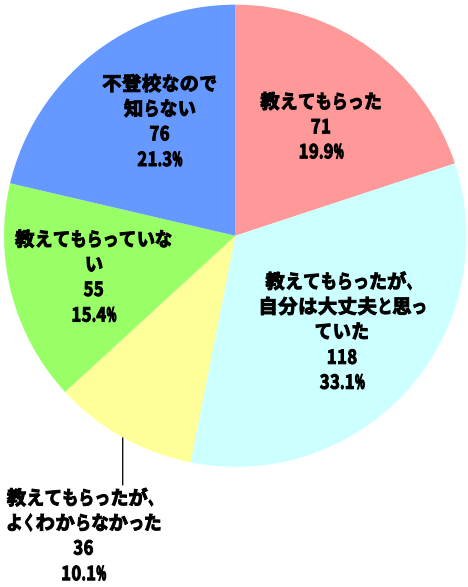
10　親による指導状況

(n = 486)



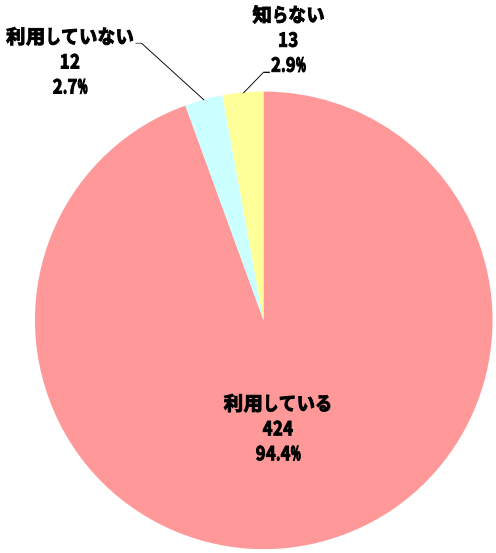
11　学校による指導状況

(n = 356)



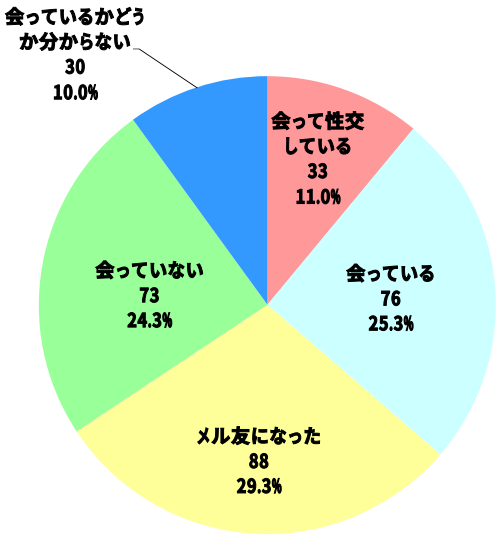
12-1　友達のサイト利用状況

(n = 449)



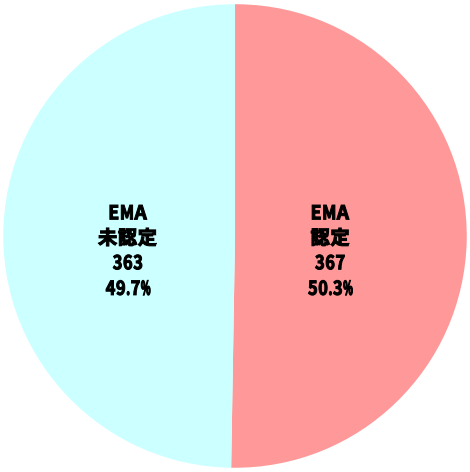
12-2 友達の"出会い"の状況

(n = 300)



13 ＥＭＡ認定サイトに起因する被害発生状況

(n = 730)



※ 一般社団法人モバイルコンテンツ審査･運用監視機構（EMA）

EMAは、モバイルコンテンツの健全な発展と、青少年の発達段階に応じた主体性を確保しつつ違法･有害情報から保護することを目的として2008年4月に発足した第三者機関である。

【EMAの主な活動】
1 青少年の利用に配慮したモバイルサイトの審査、認定及び運用監視業務
2 青少年保護と健全育成を目的としたフィルタリングの改善
3 ICT（情報通信技術）リテラシーの啓発･教育活動

第４ 検挙事例

【青少年保護育成条例違反】

被疑者（無職・男・21歳）は、携帯電話のコミュニティサイトを通じて知り合った複数の女子児童に対して、いずれも、「付き合おう」等の甘言を用いて誘い出し、ホテルに連れ込んでみだらな行為をした。　（１月・青森県）

【青少年健全育成条例違反】

被疑者（会社員・男・40歳）は、ＳＮＳサイトを通じて知り合った女子児童に対し、「ドライブに行こう」等と甘言を用いて誘い出して、ホテルに連れ込んでみだらな行為をした。　（２月・福島県）

【児童買春・児童ポルノ法（児童ポルノ）違反】

被疑者（公務員・男・48歳）は、ゲームサイトを通じて知り合った女子児童に対して、年齢を詐称して男子高校生になりすまし、ゲーム内のみで利用可能な仮想通貨との交換を条件に、携帯電話機で裸の画像を撮影してメール送信することを要求して、携帯電話機付属のカメラにより児童の裸体等の静止画を撮影させた上、同画像を児童の携帯電話機から添付ファイルとしてメール送信させて、これを被疑者の携帯電話機に保存して児童ポルノを製造した。

さらに、「会わないと画像をばらまくぞ」等と言って女子児童を呼び出した上、なりすました男子高校生の父親を名乗って、「息子はホテルで休んでいる」等申し向けて児童をホテルに連れ込み、被疑者の携帯電話機付属のカメラにより児童の裸の画像を撮影して製造した。　（１月・兵庫県）

【児童買春・児童ポルノ法（児童ポルノ）違反】

被疑者（無職・男・37歳）は、自己紹介サイトに登録している年齢が若い男性の画像を入手して、他のゲームサイトに登録している女子児童あてに同画像を送信するなどしてその男性になりすまし、同サイトを通じて知り合った女子児童に、携帯電話機でわいせつな姿態を撮影してメール送信することを強要し、携帯電話機付属のカメラにより児童の裸体等の静止画及び動画を撮影させた上、同画像を児童の携帯電話機から添付ファイルとしてメール送信させて、これを被疑者の携帯電話機に保存して児童ポルノを製造した。

（２月・神奈川県）

【強姦未遂、強盗】

被疑者（土木作業員・男・18歳）は、携帯電話機のゲームサイトを通じて知り合った女子児童に対し、「女子トイレに来て」等と電子メールで誘い出した上、出会ってすぐに刃物を突き付け、「助けを呼んだら殺すぞ」などと申し向けて脅し、公共施設の女性用トイレ個室に連れ込み、身体を触るなどしたほか、頭を殴る等の暴行を加え、女子児童の携帯電話機と財布を奪った。

（１月・鹿児島県）